

2017年4月3日

各 位

株式会社大京

2017年度 大京グループ入社式の開催について

大京グループ〔株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽）他〕は、2017年度の入社式を本日開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

○入社式概要

1. 日 時 : 2017年4月3日（月曜日）午前9時より
2. 場 所 : 明治記念館（東京都港区元赤坂）
3. 式典内容 : 社長挨拶、辞令交付、新入社員決意表明

○入社実績

男性 122名、女性 91名 合計 213名（各社の内訳は下表のとおり）

会社名	男性	女性	合計
株式会社大京	21名	6名	27名
株式会社穴吹工務店	18名	8名	26名
株式会社大京アステージ	12名	33名	45名
株式会社穴吹コミュニティ	8名	7名	15名
オリックス・ファシリティーズ株式会社	21名	7名	28名
株式会社大京穴吹建設	12名	7名	19名
株式会社大京穴吹不動産	30名	21名	51名
株式会社大京リフォーム・デザイン	0名	2名	2名
合 計	122名	91名	213名

○社長訓示

株式会社大京 代表執行役社長の山口 陽より、別紙のとおり訓示を行いました。

以 上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報・IR室（水上） TEL:03-3475-3802

(別紙)

2017年度 大京グループ入社式 社長訓示

株式会社 大京
代表執行役社長 山口 陽

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

本日は、皆さんが社会人として第一歩を踏み出される記念すべき日です。この日を迎えるにあたり、ご家族をはじめ、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、新たな決意を持ってスタートしていただきたいと思います。

本日は、新年度を迎えて私の抱負をお話しすると共に、皆さんに激励の言葉を贈りたいと思います。

<大京グループについて>

当社は、これまで日本で最も多くのマンションを供給し、長きにわたりマンション開発を主軸とした経営を行ってきました。しかし、マンション開発は、売上・利益の規模が大きい反面、多額の資金と一定の事業期間が必要な上、景気変動の影響を受けやすいというリスクを抱えています。そこで「ストックとフローの両輪経営」を掲げて、特に管理・流通事業の規模拡大と収益力強化に努め、収益構造の転換、財務基盤の強化、ビジネス基盤の構築という3つの課題に取り組んできました。

その結果、現在では47都道府県でマンション開発と管理を行っている唯一の企業グループとなり、マンションでは日本一の53万戸、ビル施設では6千件超のお客さまから管理を受託させていただくとともに、全国に435事業拠点を展開し、開発、施工、販売、管理、仲介の機能によって、お客さまのライフサイクルをサポートする独自のビジネスシステムを構築しています。

<大京グループを取り巻く環境と目指す姿>

我々を取り巻く事業環境は、建物の老朽化や空き家の増加によって、コミュニティの希薄化や居住環境の悪化、更には住宅密集市街地の防災力の強化、地方都市の活性化など、社会課題が山積しています。また、人口動態の変化や価値観の多様化、テクノロジーの進化などを背景に、世の中の余るモノ、足りないモノ、増えるモノ、減るモノが大きく変化しています。

そこで、昨年「足りないモノ」を「余るモノ」で再生する不動産ソリューションで社会課題を解決し、次世代に継承する豊かな住生活環境と、社会・経済の発展に貢献する企業グループを目指すべく、中期経営計画を策定しました。その背景には、建物を長く大切に使い、環境負荷を軽減させる社会を実現したいという思いがあり、その思いを中期経営計画の「日本のまちに、活力を」というキーマッセージに込めました。建物の快適性を失うことなく、世代を超えて建物を長く大切にに使っていただき、暮らしの中から次々と生まれてくるお客さまの様々なニーズに対して、グループ一体のワンストップでシームレスなサービスを提供し続けること。それが大京グループの使命であり、存在意義です。

<大京グループの将来を担う皆さんへの期待>

昨年に入社式で「不動産テック」と呼ばれるデジタル革命が起こり、個人の生活や旧態依然とした取引慣行が変わりつつあることを話しました。しかし、今や様々なモノがインターネットに接続されているだけでなく、人とロボット、或いはAIと共生し、人間の行動など多種多様なデータを活用することで、様々なニーズにきめ細やかに対応できる社会を迎えようとしています。科学技術の進化がどのような社会をもたらすのか。その中で我々はどのような価値を提供できるか。この課題に真剣に向き合わなければなりません。

●企業は現実と格闘する場所であり、仕事はチーム戦。互いに切磋琢磨し成長してほしい

世の中には、このような大きな流れとは別に、小さいけれども新しいトレンドが次々と芽生えています。イノベーションには柔軟な発想が不可欠です。世の中の変化をチャンスと捉え、今までのやり

方を変えるような意識を持ってこそ、新しい需要と結びつけるアイデアが生まれ、組織も活性化していきます。知識があっても活かさなければ何も生まれません。活かすとは、他社にはない優れた知識や情報がグループ内で共有され、グループとしての大きな優位性を生み出すことです。時代の潮流に対して、グループが一体となり新たな取り組みに挑戦しなければなりません。

皆さんは、これまで学校で様々な理論を学んできたと思います。また、試験という個人戦によって評価されてきたと思います。しかし、企業は現実と格闘する場所であり、仕事はチーム戦であることを肝に銘じてもらいたいと思います。そのためには、組織の枠組みを超えた活発なコミュニケーションが必要です。組織の枠組みを超えた強い仲間意識を持ち、互いに切磋琢磨し、成長していただきたいと思います。

●見えないモノを見る努力、声なき声を聞く努力によって、お客さまの潜在的なニーズを見逃さない感性を磨いてほしい

変化の早い時代だからこそ、見えないモノを見る努力、声なき声を聞く努力をし、お客さまの潜在的なニーズを見逃さない感性を磨いていかなければなりません。既に見えているモノや聞こえていることに対して無関心・未対応では、お客さまが逃げていくだけです。言われたことをやるだけなのは誰にでもできます。言われる前に対応することが肝要です。人が見ていないところでも努力する人は、必ずやその努力以上の評価が得られるでしょう。より早く、お客さまの期待以上の対応力を身に付けてください。

●人生は学びの連続。身近な目標を立て、その実現に向けて日々努力をしてほしい

人生は学びの連続です。これまでのように先生が教えてくれるという受け身のスタンスでは通用しません。一つひとつの経験が意識の違いによって大きな差となり、その経験から何を学んだのかが、その後の財産になるのです。ですので、学ぶこと、知ることに対して食欲になってください。3年後、5年後にどうなりたいのか。キャリアプランを立て、それを見失うことなく、その実現に向けて日々努力をしてください。

皆さんはそれぞれに夢と希望を抱き、ここに出席されていると思います。今日がスタートです。一人ひとりが進化し、新たな時代へ踏み出してください。そして、グループ一体となってお客さまの満足度をさらに高め、様々な場面や事業でお客さまに選び続けていただける「新しい大京グループ」を一緒に創っていきましょう。

最後に、心身ともに健康を保ち、知識だけでなく、謙虚さや感謝の気持ちといった人間力にも磨きをかけ、心技体のバランスのとれた社会人になっていただけますよう祈念し、お祝いの言葉とします。

以 上